

3 学年音楽科

1 使用教材

教科書及び副読本など
中学生の音楽 2・3 上下（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社） 合唱曲集「翼をください」（教育芸術社） プリント

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①学習への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲にふさわしい歌唱表現をしようとしている。 ・日本の音楽における特徴や音楽の背景に関心を持つようとしている。 ・楽曲の雰囲気や曲想に関心を持ち、集中して聴こうとしている。 ・和楽器の特徴に関心を持つようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠席、遅刻 ・ 授業の準備物 ・ 提出物 ・ 積極的な授業参加
②音楽的な感受や表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の持っている良さや特徴を感じ取り、表現を工夫している。 ・歌詞の内容や曲想の味わい、その曲にふさわしい発声や言葉の特性、全体との調和を感じ取って、歌唱表現を工夫している。 ・和楽器を含めた楽器の音色や歌唱表現の特徴を感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト
③表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな口と大きな声で、恥ずかしがらず歌唱表現する力を身につける。 ・歌詞の内容や曲想の味わい、その曲にふさわしい発声や言葉の特性を生かして歌唱表現する技能を身に付けている。 ・和楽器独特の楽譜を理解し、尺八や箏を体験演奏することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技テスト
④鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して鑑賞することができる。 ・それぞれの良さや工夫したところ、できなかったところを聴き取り、味わうことができる。 ・日本の音楽の特徴を聴き取り、文化や歴史を含めて総合的に聴くことができる。 ・時代背景や文化、作曲者が伝えたかった音楽を理解し、聴き取ることができる。 ・和楽器特有の音色など、直接伝わる生の演奏を通して、演奏を味わう事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞ノート ・ テスト ・ 授業中の鑑賞態度

3 学習計画

	各単元	主な学習内容
3 学 年 1 学	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱の導入 ○日本の歌を歌おう ○既習曲の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい仲間と歌う喜びをわかち合い、音楽学習への意欲、態度を育てる。 ・歌詞の内容曲想を味わい、日本の歌曲を愛好する詩情を育てる。

期	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 夢の世界を(混声3) ▪ 夏の日の贈り物(混声2) ▪ Believe(混声3) ▪ 花 (混声2) <p>○合唱の表現を楽しもう</p> <p>◎美しい世界(混声4)</p> <p>○合唱コンクール曲紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 各パートの決定 ▪ 指揮、伴奏 ▪ リーダーの決定 <p>○いろんな記号</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 混声4部のハーモニーを感じ表現する力を育てる。 ▪ 声のハイトーンへの挑戦と、男声2部の歌う重厚を感じ、取り組む姿勢を育てる。 ▪ 各声部の音楽の役割を理解しユニゾンとオブリガートと混声の違いを理解し、表現する力を育てる。 ▪ 自主的なパート練習の定着を目指す。
3 学 年 2 学 期	<p>○合唱の定着</p> <p>○舞台発表と鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 文化祭 <p>○合唱の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 他クラスの合唱曲への挑戦 <p>○オーケストラの楽器に親しもう。</p> <p>○吹奏楽部による楽器紹介、説明、演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 木管楽器・金管楽器 ▪ 打楽器・弦楽器(一部) <p>○いろんな記号</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ひとつの曲を掘り下げ、作詩者作曲者が曲に込めたメッセージを理解し表現する力を育てる。 ▪ 共に創るステージを大切に鑑賞マナーを育てる。 ▪ 楽器の名前、歴史、音が出る仕組みや音色の違いを、友の実演から学び、楽器に親しむ世界を広げる。
3 学 年 3 学 期	<p>○3年間のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 既習曲の定着 ▪ 鑑賞「世界の音楽」 <p>○卒業式 式歌の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 全校合唱曲(式歌) <p>○学年合唱から全校へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 学年合唱曲(独自曲) 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 積み上げてきた3年間の曲を振り返り、再度、その曲の表現を工夫し、楽しむ心を育てる。 ▪ 音楽を通して、その国の文化に触れ理解する力を育てる。 ▪ 3年間学んだ友と、歌う学年合唱曲、全校合唱曲に心を込めて表現する力を付ける。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 毎回、準備物を確実に持ってこよう。 ▪ チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 ▪ 授業に集中し、指示や説明を聞くときはしっかり聞こう。 ▪ 仲間とともに歌う喜びを分かち合い、体全体を使って表現をしよう。 ▪ 提出物は、期限までに出そう。 ▪ 授業での発問などには、積極的に参加して発表しよう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 様々な音楽に興味を持ち、鑑賞や体験をする機会を増やそう。 ▪ テスト前には自宅でテスト範囲の学習をし、実技については授業に集中して技術を身につけよう。